

医療

知っておきたい医療知識

シリーズ

歯科治療最前線

あなたも「明眸皓歯」になりませんか。きれいな口元から機能も回復へ

「審美歯科(しんびしか)」

人に対して好感を持たれる「白い歯ときれいな歯並び」。笑う時にも堂々とできますね。それらに対応できる歯の治療の分野を「審美歯科」といいます。そこで今回は、「審美歯科」の概要や治療を取り上げました。

芸能人、キャスターなど

「明眸皓歯(めいぼうこうし)」という言葉を知っていますか。これは美しく澄んだ瞳と白く整った歯の意味で、美人の例えに使われる言葉です。歯が白くきれいになりたいと思っている人は男女問わず多数いるはずですが、以前の日本では「八重歯がかわいい」



熊本インプラントセンター 添島歯科医院 添島 義樹 院長

歯科医からのアドバイス Q&A

「審美歯科」

「審美歯科治療は見た目を良くすることができるようにする機能面の回復があります。口腔外科や矯正治療の面も含まれてきますので、歯科における総合治療の範疇に入ります。」

簡単な治療から外科的処置まで

一般的によく言われるのが歯を白くするホワイトニングです。ホワイトニングには歯科医院で行うオフィスホワイトニングと、自宅で行うホームホワイトニングがあります。歯科医院で行う場合は約1時間の施術で白くなります。自宅では約2週間、毎日1時間から2時間ほど専用のマウスピースと薬剤を用いて白くしますが、極端に真っ白な歯には、ホワイトニングではできません。歯を白くするだけでなく、形を変えたり、前歯の出具合を改善する場合はクラウンを被せたりします。また、メラニン色素の沈着で歯茎の色が暗くなったりしている人には、レーザー治療を施してピンク系の色にしたり、歯茎の長さが不

見た目の美しさと機能の回復に焦点を当てたのが「審美歯科(しんびしか)」です。簡単な治療から外科的な処置も含んだ総合的な歯科治療です。今回は「審美歯科」について、添島歯科医院(熊本市中央区桜町)の添島義樹院長に、お話を伺いました。

審美面と機能面が回復

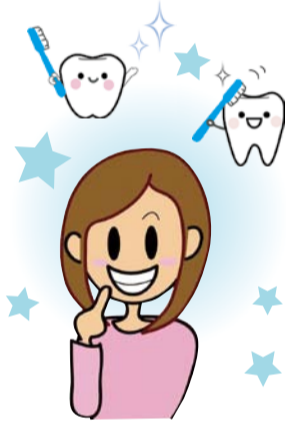
審美歯科とは歯科の中でどのようなことをいうのですか?

審美歯科治療は大きく2つの側面があります。一つは歯を白くしたり、自然できれいな口元にしたり、歯の形、歯茎の色をきれいに整えるなど審美面での回復と、歯並びを整えることで良く噛めて、スムーズな発音が

「ね」とかよく言われていたが、欧米では歯並びや歯の色などが悪いことは、人から良い印象を持たれないと考えられていました。それらの風潮が日本にも伝わり、歯の外見を良くしたいと意識する人が増えてきました。芸能人や歌手、タレント、アナウンサー、キャスターや一部スポーツ選手などに歯が白くきれいに整えているなど感じていませんか。そのような人たちの多くが「審美歯科治療」を受けているようです。ニースの高まりに合わせて、大都会では審美歯科治療の中の「ホワイトニング」だけを専門に行う歯科医院も出てきています。

治療範囲は前歯から奥歯まで

審美歯科治療は見た目を良くする



だけでなく、歯科における機能面を回復させることも目的とする両面を持ち合わせた治療です。ホワイトニングから歯茎の切開などの外科的な処置なども含まれ、ある意味、総合的な歯科治療ともいえます。治療の範囲は歯の虫歯治療から矯正やインプラント、歯周組織の外科を組み合わせた全体の治療まで多岐に亘ります。従って治療する部位や患者さんの条件によって様々な方法がありますし、治療期間もそれぞれ違ってきます。また、保険適用外の治療のため、治療費も違いますので、治療を受ける際は、十分に歯科医に相談して納得した上で決めることが大切です。

揃いの方は、歯茎を切ったり、膨らませたりして自然な感じに戻したり、器具を使用して歯並びを矯正する治療などがあります。

外見もきれいになり、QOLもアップ

審美歯科を受けられる患者さんの傾向などは?

審美歯科治療は保険適用外の治療になります。女性が中心ですが、男性でも営業マンの方や、人前に出て話をする機会が多い方などが受診されるケースが徐々に増えてきています。機能も回復するとともに、外見上もきれいに見える点が高まると、QOLが高まっていると考えられます。

Map and contact information for Soejima Dental Hospital, including address, phone number, and website.

地域医療最前線

がん温熱療法 ハイパーサーミアの治療法



泌尿器科部長 川畑 幸嗣

鶴田病院(熊本市東区保田窪本町、鶴田克明理事長・総院長)は今年7月中旬の新病院への移転開院を機に、がん温熱療法(ハイパーサーミア)の治療装置「サーモロンRF8(山本ビニター製)」を導入します。そこで、その治療法を川畑幸嗣泌尿器科部長に説明してもらいました。



▲新病院の完成イメージ

がん病巣を領域的に温める 外部加温装置

がん細胞は42.5℃以上に温度が上がると死んでいきます。一方、正常細胞は同様に温められても血管が拡張して血流が増加し、熱を下げてく

れます。がん細胞の血管は拡張できませんのでオーバーヒートしてしまう訳です。

サーモロンは、8MHz高周波を利用して身体の外からがん病巣を領域的に温める外部加温方式の装置です。42.5℃の加温によりがん組織の直接的な壊死効果が得られます。また、周辺組織が39.5℃に加温されることで、身体の免疫力も活性化される効果があります。がんの種類や病期(早期/再発/転移)に関係なく応用でき、延命効果や症状緩和が得られます。副作用や後遺症も非常に少なく、長期間にわたって何回でも治療が可能です。さらにはがんの3大療法と併用することでより効果を発揮します。

治療法の工夫で 多数の成果が報告

例えば手術の前後利用で再発抑制や根治率改善の可能性が報告されています。放射線や抗がん剤治療でも、がん細胞の感受性を増感させ抵抗性を



▲がん温熱療法治療装置「サーモロンRF8」と治療イメージ

がん予防は生活習慣の改善から

がん予防で重要なのは、①食生活②生活習慣③運動です。国立がんセンターは、この3つについて、「がんを防ぐための12カ条」を発表しています。

《がんを防ぐための12カ条》

- バランスのとれた栄養をとる
● 毎日、変化のある食生活を
● 食べ過ぎを避け、脂肪はひかえめに
● お酒はほどほどに
● たばこは吸わないように
● 食べ物がからヒタミんと
● 繊維質のものを多く摂る
● 熱いものは冷まして
● 焦げた部分はさける
● かひの生えたものに注意
● 日光に当たり過ぎない
● 適度にスポーツをする
● 体を清潔に

ご覧の通り、これらは目新しいものではなく、長年、一般的な健康作りに良いと言われてきたものばかりです。日ごろの生活を総点検し、12カ条を少しずつも取り入れてみてはいかがでしょうか。

Advertisement for Tsuruta Hospital, including address, phone number, and list of medical departments.

鶴田病院